

“第一城ヶ崎丸” 進水式

令和4年3月30日に富戸漁港（伊東市）において、城ヶ崎海岸富戸定置網株式会社の新船「第一城ヶ崎丸」の進水式が執り行われました。同社は富戸地先で大型定置網を経営しており、第一城ヶ崎丸は漁労作業や漁獲物の運搬だけでなく、今後、観光客等に乗せて漁労作業を見学させる観光定置や、城ヶ崎海岸周辺の遊覧にも活用されるとのことです。同船は、長さ19メートル、総トン数14トンであり、ユニックが2機付いているため漁労作業を効率的に行うことができ、また、デッキはフラットで歩きやすくトイレも付いているため、観光客の乗船にも適した構造になっています。

進水式には地元住民をはじめ、国会議員や伊東市長、同社社長と親交のある企業等も駆けつけ、同社の今後の活躍を祈念する言葉が贈られました。また、同社代表取締役社長の日吉社長や秋元執行役員漁労長からは、「定置漁業のスマート化や漁獲物の蓄養出荷などにも積極的に取り組みたい」「伊豆の定置網、獲れる魚の良さを伝えていきたい」など今後の抱負が述べられました。

伊豆地域には、同社を含め約10か統の定置網が営まれています。同社は漁労だけでなく、観光定置や蓄養出荷など、新たな事業への着手に積極的であることから、これからの伊豆地域における定置漁業の模範となることを期待します。



(写真) 進水式の様子

(鈴木勇己)